



小野美が創立20周年 いわきと郡山で企画展開く

平字中町、小野美術は先ごろ、創立二十周年記念特別企画として、「薩摩焼十五代沈壽官展」プレセール展をいわきで、本企画展を郡山ビュウプラザで開いた。

陶祖渡来から四百有余年の歴史を持つ家門で、薩摩焼の第一人者として知られる沈壽官さんは、第二次大戦時、母親がいわき市内に疎開していた縁から、同店創立の節目に企画展を開いている。



薩摩焼の歴史、文化などを講演する沈壽官さん

今回は二〇一一年以来の企画展で、郡山で開かれるのは初。沈さんの特別講演なども実施され、陶芸愛好家や、茶器を求め茶道関係者らがいわき、郡山の会場に訪れた。

他の展示会などでは手に入りにくい、貴重な透かし彫りの香

爐(ろ)をはじめ、花瓶、茶盤(わん)、置物など逸品の新作を多数展示。限定予約販売の特別企画作品など、この機会にしか入手できない品々が並んだ。

同店の小野誠一社長は、「縁あって、十年、二十年と節目の年に先生の企画展を開催できた。こうした企画展は、本来デパートなど、規模の大きなところで行うべきもの。勤めていた大黒屋デパートから引き続き、当店の二十年の歴史も含め、これからもいわきの美術文化をつないでいきたい」と、熱く語っていた。

長源寺で恒例 茶せん供養行

平字胡摩沢、曹洞宗長源寺(栗山周栢住職)は先ごろ、恒例の



茶せんに感謝を込め手を合わせる参拝者ら

「茶せん供養」を行った。

同行事は、使い古した茶せんや、壊れてしまった茶器を持ち寄り、感謝とより一層の精進の気持ちを含めて、焚(た)き上げる。毎年十一月二十三日に開催、四十一年目の今年は和服姿の女性を中心に、約三十人が参

生活記録誌の 第2弾を発売

小宅幸一さん

過去を掘り起こし、現代に伝えたいとしていわきの文化、風習などをまとめた生活記録誌第

二弾『いわき発・歳月からの伝言 2 か』(A4判・二百三十七ページ 歴史春秋社出版 税込み一部三千二百円)が昨年十二月、発売された。著者は錦町、元いわき市職員、小宅幸一さん。本は、市内の各書店で発売中。

「いわき地域における昭和時代の生活の中のおさまさまな事象



刊行した記録誌の第2弾を持つ小宅さん

を軸に、過去から現在、未来へ通じる一本の帯としてとらえ、後世に残したい」
こうした意識を根底に抱えていた著者の小宅さんは、五十音順に昨年執筆にとりかかった。テーマは五十音の順とし、一昨年の「あ」行に続き二冊目。

小宅さんは、「この記録誌は『わ』行まで続けるつもりです。あと十数年はかかるかもしれませんが、写真などの資料がありましたらぜひ、市民の皆さんから協力していただきたいと思っています。」

加した。
栗山住職が読経した後、参拝者それぞれが焼香し、茶せんに火中に入れ供養した。
会場には、裏千家桃李会(矢内宗里さん主宰)の茶席が設けられ、来場者は茶器の説明を聞きながら、一服をたん能。栗山住職の手製のぎんなん粥(がゆ)もふるまわれた。

東邦銀行で投資信託 WEB キャンペーン

「すべてを地域のために」をキャッチフレーズに、県内外で業務展開をする東邦銀行は、十二月一日から新年一月三十一日まで、「投資信託 WEB ご契約キャンペーン」II チラシ左II を実施する。

商品は、同行取扱ファンド、ただし、ノーロードファンド(インターネット投資信託専用ファンド)、ジュニアNISA口座での購入を除く。対象は、期間中にインターネット投資信託で対象商品を十万元以上購入の個人。

抽選で千五百人に千円をプレゼント。十万元以上の一括購入で一口の抽選権となり、購入金額にかかわらず一人一口での抽選となる。

詳細は、同銀行・各支店まで。

